

電解水の試験

1 依頼者

[Redacted]

2 検体

MIOX

なお、依頼者から電解水の調製に用いる食塩の提供を受けた。

3 試験概要

依頼者提供の食塩を用いて3%食塩水を調製し、電源を入れた検体に導入して得られた水（電解水）について以下の試験を行った。

- 1) pH, ヒ素, 鉛及びカドミウム
- 2) 食品, 添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第2添加物「次亜塩素酸ナトリウム」性状及び確認試験

00001

4 試験結果

- 1) pH, ヒ素, 鉛及びカドミウム

結果を表-1に示した。

表-1 pH, ヒ素, 鉛及びカドミウム

分析試験項目	結果	検出限界	試験方法
pH	7.8	—	ガラス電極法
ヒ素	検出せず	0.01 mg/L	原子吸光光度法
鉛	検出せず	0.01 mg/L	原子吸光光度法
カドミウム	検出せず	0.005 mg/L	原子吸光光度法

- 2) 「次亜塩素酸ナトリウム」
結果を表-2に示した。

表-2 「次亜塩素酸ナトリウム」性状及び確認試験

分析試験項目	結果
性状	無色で、塩素のにおいがあった。
確認試験	
(1)ナトリウム塩	
(1)	黄色を呈した。 → ナトリウム塩の定性反応(1)を呈した。
次亜塩素酸塩	
(1)	ガスを発生して泡立った。
(2)*1	液は黄色となり、これにデンプン試液を加えるとき、液は濃青色を呈した。
(3)*1	液の赤紫色は退色しなかった。 → 次亜塩素酸塩の定性反応を呈した。
(2)*1	波長291~294 nmに極大吸収部があった。
(3)	リトマス紙は青変し、次に退色した。

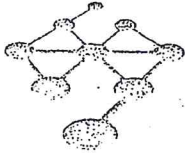
食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第2添加物に準じて試験した。

*1 規定された希釈操作を行わず、原液について試験した。

以 上

00001

00001



Japan
Food
Research
Laboratories

試験報告書

第 302040664-001 号

依頼者



検体 MIOX

試験項目 電解水の試験

00001

平成 14 年 04 月 30 日 当センターに提出された
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

平成 14 年 05 月 20 日

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号

本報告書を他に掲載するときは当センターの承認を受けて下さい。

00001

00001